

# 防災・安全ニュース

VOL. 36

## 危機管理課

2026年4月号

電話：65-1282

4月は、就職、入学、異動などの新しいことが始まる時期です。

4月最初の一粒万倍日（いちりゅうまんばいび）は8日で、「一粒の粃（もみ）が万倍に実る稲穂になる」という意味があり、わずかなものが飛躍的に増える開運日ですので、新しいことに因んだことを始めるといいことがあるかもしれません。

では、今月号もよろしくお願いいたします。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・平成28年熊本地震から10年
- ・春の全国交通安全運動
- ・新しい防災気象情報

### 平成28年熊本地震から10年

この地震は、4月14日の前震に続き4月16日の本震で、それぞれ震度7を観測し、前震からの3日間で震度6弱以上の地震が7回も発生するという特徴的なものでした。また、本震の発生は01:25で真夜中でした。

日本には2,000以上の活断層があるとされており、いつでも地震が起こってもおかしくありません。4月は、新たな生活を始める方もいらっしゃると思いますので、この機会を捉えて自宅以外の勤務場所なども含めた避難場所の事前確認や地震以外にも備えるためにハザード・マップの確認などをしてはいかがでしょうか。

新居浜市総合防災マップ（令和5年12月）

→ <https://www.city.niihama.lg.jp/site/bousai/boumap.html>

## 春の全国交通安全運動

今年の春の交通安全運動は、4月6日（月）から4月15日（水）で、10日（金）は、交通事故死ゼロを目指す日です。そして、スローガン（愛媛県）は「合言葉 止まる待つ見る 守ろうよ」です。



4月は、小学校の新1年生が、親の手を離れて通学やお友達と外遊びをするようになるなど「1人デビュー」をしたり、徐々に暖かくなって通学にも慣れてくるので気が緩みやすいなどと言われます。

保護者の方は是非、通学路や自宅周辺の道路を一緒に歩いて交通ルールを確認したり、危険な場所の確認などを行ったりしていただければと思います。また、周囲の大人も、子供たちに事故のないよう見守っていただければ幸いです。

## 特集 通学路における交通安全の確保について（内閣府 HP）

→ [https://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/r07kou\\_haku/zenbun/genkyo/feature/feature\\_1\\_1.html](https://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/r07kou_haku/zenbun/genkyo/feature/feature_1_1.html)

## 新しい防災気象情報


これまでの河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報（防災気象情報）は、これまで警戒レベル（住民の皆さんが災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう、避難の判断に資する情報を5段階に整理したもの。）との関係性がわかりづらい状態でした。このため、今年の5月下旬（予定）から、新しい防災気象情報に改善され、避難情報の5段階の警戒レベルに対応し、避難の判断がわかりやすくなります。詳しくは、気象庁のホームページに掲載されておりますので、そちらをご覧ください。

## 新たな防災気象情報について（令和8年～）

→ <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>

### 令和8年5月下旬(予定)より 気象の警報などが大きく変わります

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります（特別警報の新設など）

 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

#### 【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

今年の1月に太陽めがけて飛来する新たな彗星が発見されました。このマップ彗星が近日点（太陽に最も近づく点）に達するのが4月4日頃。太陽の強烈な熱と重力に彗星が耐え切れず、近日点に到達する前に消滅する可能性もありますが、無事に通過すれば、最も明るい予想では満月に匹敵するくらいまで増光する可能性があるそうです。ただ、北半球の中緯度地域では太陽から2～3°しか離れていないそうなので、彗星そのものの観測はかなり難しいとのこと。

なお、彗星の核が崩壊しても、4月4日からしばらくの間は、夕暮れの西の空に長く明るい尾が見える可能性はあるそうですので、興味のある方は天体ショーを楽しみにしてください。

(N.0)